

# オリーブの会通信

2020年12月1日

発行：KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/>



早 師走となり皆様におかれましては何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。今年は春先から新型コロナウイルスに世界中が翻弄され続けている感がありますが、そのような中、毎年恒例の流行語大賞が発表され、「3密」が今年の「年間流行語大賞」に選ばれました。

月例会でも、「3密」の回避を厳守して開催し、内容においては皆様の関心の高いテーマについて研修等を行うことを目指して講師の人選に努めているところです。

11月22日の例会には徳島県三好市で活発なひきこもり支援活動を行っておられる「NPO法人 みよしサポート協会 ぴあぞら」理事長 天野雄二氏をお招きし「徳島県三好地域のひきこもり支援」と題して講演会を開催しました。

天野氏は、ご自身がかつてひきこもり経験を有しておられ、ひきこもりに対する理解が深く、現在はその経験を生かしてひきこもり支援に取り組み地域物の物心両面の資源を生かすとともに地域に支えられて活動を展開しておられる実態を丁寧にお話しされました。

地道な支援活動は程なく三好市の認めるところとなり、昨年12月には廃校の小学校の校舎の一部を使用して「居場所」の開設を実現できるまでになるなど、市の理解と支援協力だけにはとどまらず、地元の精神科を有する病院の協力をいただいているほか、元学校教員はじめ多彩なボランティアの参画を得ることもできているそうです。

今回天野氏に同行して来られた「ぴあぞら」への通所者（元不登校経験者）は、ご自分のかつての経験や現状についてお話しをいただきましたが、聴く私たちは「エー本当に当事者」と思う程の語り方と内容であり出席者に希望を与えてくれました。

厚労省にも望ましい官民連携（他機関連携）のモデルとして認められ、全国で紹介されている「ぴあぞら」の活動が今後も順調に継続発展していくことを願うと共に、当会もこの学びを今後生かしていきたいと感じました。

## ○当日の参加者から寄せられたご感想の一部を紹介します

- ・ひきこもりの方に対して、先ず信頼関係を築き居場所へ誘い、次に就労へと段階的な支援を継続していくことの重要性について理解が深まりました。一度、このような支援につながる事ができれば、様々な職種の方がその人に合ったアプロー

チができるが、家庭内のみで悩み続ける場合も多いため、社会的にひきこもり支援についての理解が広まり、このような支援につなげていくことができればと思った。

- ・元当事者であられたお二人が、それぞれ多くの人が集まった場所でご自分の経験やお働きについてお話し下さったことに感動を覚えました。
- ・不登校を経てひきこもりになっても、多数の支援者にいろいろなサポートを受け、今度はご自身がサポートする人に成長していく、素晴らしいご経験を知ることができて感動しました。
- ・ひきこもり支援は時間をしっかりかけること、地道な働きかけが大切であることを知ることができました。ご自身のひきこもり体験を基に今度は反対にその体験を生かしてNPO活動によって支援活動を行う。素晴らしいと感じました。

.....

- 12月の例会は、ここ数年間続けてきたご一緒の昼食が残念ながらコロナの影響で出来ません。それでも、色々な話題の多くあった感のあるこの1年を共に振り返り、新たな希望をもって新年を迎えたいと思いますので一人でも多くの方々のご参加をお待ちします。(各自昼食を済ませて13:30分には集合してください。)

詳細は本誌「第220回月例会ご案内」に記載

- 令和3年4月施行予定の改正「社会福祉法」に基づくひきこもりなどに対する新たな施策「重層的支援体制整備事業」に関しては、これまで動きのなかった市町の中にも現在、会期を迎えた(ようとしている)議会で議員質問がされるなど変化が見えてきました。

上記と関連する、ひきこもり UX 会議(本部:東京)が厚生労働省から補助金を受け展開する「令和2年度社会福祉推進事業」の実施拠点(全国で数カ所)に香川県を選定し開催した11月25日(水)サンポートホール高松での研修会「ひきこもりをとらえなおす」には定員100名を超える参加がありました。

当会もこの事業に協力団体として両代表はじめが準備段階から参画しましたが、全行程でポパイのメンバーが大事な役割をしっかりと引き受けその任務を果たしている姿に接し大変心強さを覚えました。

これに続いて、1月20日に高松市「サンポート高松」で「ひきこもり UX ラウンジ in 高松」、2月6日には「多度津町福祉センター」で「ひきこもり UX ラウンジ in 多度津」

が開催されます。—いずれも13:30~16:30、無料・予約不要

— 詳細は同封別紙を参照 — この会にもご参加をお勧めします。

\*ラウンジ : 休憩室、談話室、空港の待合室

## 第 220 回月例会ご案内

日 時	2020 年 12 月 13 (日) 13:30~16:30 (受付: 13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1・2研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel: 087-867-7686
内 容	<p>☆一部 13:30~ 会の諸報告</p> <p>「この1年を振り返って」、数名の方にこの1年があったこと、来年の希望などを自由に話していただきます。 — この後 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に「脳トレ」、「ゲーム」をします。</li> </ul> <p>これ以外に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私流健康法」や、歌、器楽演奏等の発表も歓迎しますので是非自由にご準備して参加をしてください。</li> </ul> <p>15:00~15:15 休憩</p> <p>☆二部 15:15~16:30 グループ別 話し合い</p>

## 第 221 回月例会ご案内

日 時	2021 年 1 月 31 (日) 13:30~16:30 (受付: 13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1・2研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel: 087-867-7686
内 容	<p>☆一部 13:30~ 会の諸報告</p> <p>13:35~15:00 内容検討中</p>

	<p><b>15 : 00～15:15 休憩</b></p> <p><b>☆二部</b></p> <p><b>15:15～16:30 グループ別 話し合い</b></p>
--	---

- ・会場の「かがわ総合リハビリテーションセンター」は新型コロナウイルスの感染防止対策のため、これまで入場者数を定数の約 50%に制限していましたが、各室とも本来の定員による使用を可能としました。 とはいえ、
- ・入館の際はマスク着用等施設のルールに従来通り従って下さい。なお、感染状況の変化に伴ってルールが柔軟に変更されるため最新のリハセンのルールの把握に努めそれに従って下さい。

また、研修室の机・椅子の配置と終了後の元位置への移動を使用者側がすることとなっているため皆様のご協力をいただけると感謝です。



### 三豊市における「ひきこもり研修会」は全日程を終了

9月5日から三豊市管内の6拠点（三豊・豊中・詫間・仁尾・財田・山本）で5日間にわたって実施された「ひきこもり研修会」は11月11日（水）の山本町（支所）における開催をもって全て予定通り終了しました。全ての会で川井富枝、加藤正起両氏は「ひきこもり家族会の歩み」と私 と題し講師の任務を担われ主催者側から感謝のおことばをいただきました。出席者の総数は民生委員児童委員 156名（管内全委員人数：166名、出席率：94%）、一般 19名（市職員含まず）計 175名でした。

### 山本博司厚生労働副大臣の当会事務所へのご来訪

10月11日（日）コロナ禍でご多忙中にもかかわらず、山本博司厚生労働副大臣がご来訪下さり（同行者：春田敬司市議、鈴木秘書）当会事務所で約1時間半に亘り意見交換の機会をいただきました。

（当会出席者：松本・平野・川井・吉田夫妻、片桐（喜）の6名）

副大臣からは、ひきこもりに対しての国の政策方針等についてご説明をいただきました。当会からは、会の現状並びに「重層的支援体制整備事業」に対する県と県内各市町の取組み姿勢の現況報告等をさせていただきました。

この中で、当会からの要望事項として、国の方針を今後更に全国の都道府県に徹底して欲しいこと、都道府県が各市町村に対して指導が行き渡るようにしていただきたい、加えてご就任を機に従来にも増してひきこもり対策への有益な施策推進を強力で押し進めていただきたい旨のお願いをすることができました。

最後は、全員で記念撮影にも快く応じていただき良き記念の日となりました。

### **【今月以降の各会等の予定】**

（相談窓口・傾聴サロン）

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは ☎ 087-802-2567 をお待ちしております - 第5土曜日は全て休みです -	12	5、12 19、26	土	10:00~16:00	加藤ほか
	1	2、9 16、23	土	10:00~16:00	加藤ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先: ☎ 087-802-2567 - 第1・3土曜日に行います -	12	5、19	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野
	1	2、16	土	13:00~16:00	サポーター登 録者・平野

(注) 初めて参加される方は、(☎ 087-802-2568) オリーブの会まで予めお電話ください。

### (運営委員会等)

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第8回運営委員会	12	12	土	13:30~16:30	第2土
第9回運営委員会	1	16	土	13:30~16:30	
第10回運営委員会	2	20	土	13:30~16:30	
第11回運営委員会	3	20	土	13:30~16:30	
第1回運営委員会(2021年度)	4	17	土	13:30~16:30	

\*ポパイの会(居場所活動) 予定は、別途印刷の同封のパンフをご活用ください。

### お知らせ

(1) KHJ 本部主催行事「KHJ スキルアップ研修 in 高知」・多機関、官民連携に向けてピアサポーターの力をどう生かすか? 行政との連携づくりをどう考えるか? と題する研修会が下記の日程で開催されます。

開催日: 2月6日(土) 13時~17時 高知県民ホール第6会議室

2月7日(日) 9時30分~16時 高知市東部健康福祉センター

上記の日程中、7日の事例発表(全国で3件)として香川県の実例を発表します。

参加費助成について会員は別紙1を参照。

(2) 「KHJ 香川県オリーブの会と三豊市の連携協力について」

発表者: 川井富枝氏(当会顧問)、安藤三津子両氏(三豊市職員)

については、四国管内で開催されるこの会に一人でも多くの方々と出席し、多機関、官民連携に関しての学びを深めたいと考えます。

・出席予定者は1月15日(金)迄に松本までご連絡をお願いします。

参加費(現地): 当事者・経験者 2,000円、家族 3,000円、支援者 10,000円  
(参加費(現地): 高知の会場で参加するの意)

オンライン参加費; 当事者・経験者 1,000円、家族 2,000円、支援者 5,000円

(3) 12月4日(金) 12時30分から恒例の事務所兼居場所の一斉清掃を行います。

以上